



HEIWA CORPORATE BOOK



# もっと楽しめる 未来をつくらう

「もっと楽しめる未来をつくらう」を合言葉に、  
平和グループは「総合レジャー企業」を目指し  
チャレンジを続けています。  
次の時代のエンターテインメントのために、  
一人でも多くの人たちの喜びと夢のために。  
平和グループは、未来を創造していきます。



## ご挨拶

平和グループは、「もっと楽しめる未来」を創造するために、半世紀を超えて、エンターテインメントを追求してまいりました。

遊技機事業においては、市場環境の変化を見極めながら、常にイノベーションを続ける平和のモノづくりの精神を発揮し、お客さまに支持される製品の開発に努めております。

ゴルフ事業においては、「Love Life. Love Golf. ゴルフは、もっと、素晴らしい。」をテーマに掲げ、顧客満足度の更なる向上を図るとともに、ゴルフを愛するすべてのお客さまへおもてなしの心で、多様化するゴルファーのニーズに応えるべくサービスを提供しております。

私たち平和グループは、「総合レジャー企業」を目指し、更なる企業価値の向上を図り、もっと感動できるエンターテインメントを提供してまいります。

代表取締役社長 嶺井 勝也



1949年に創業し、1960年に設立されたパチンコ・パチスロ機の老舗メーカーである当社は、1988年に業界初の株式会社登録、1997年には東京証券取引所一部上場を果たし、2022年には東証プライム市場に上場するなど、業界のフロントランナーとして走り続けてまいりました。2007年のパチスロ機メーカー(株)オリムピアとの経営統合や2011年にゴルフ場保有・運営大手のPGMホールディングス(株)(現パシフィックゴルフマネージメント(株))の連結子会社化など、常に進化し続けております。当社はこれからも安定した経営基盤のもと、「もっと楽しめる未来をつくらう」を合言葉にお客様へ楽しい時間を提供し、総合レジャー企業を目指してまいります。

# Pachinko and Pachislot Machine Business

## 世の中に驚きと感動を。

平和には、楽しさを提供するとともに環境を意識したモノづくりへのこだわりがあります。企画から開発、製造…。平和では、すべての部門が仕事に対する強い思いをもって“モノづくり”に関わっています。すべてのプロセスに、社員一人ひとりの思いがこもっています。さらに、その製品は地球環境へも配慮したものとして考えています。

【トータルエコロジーの考え方】

リデュース  
**Reduce** (減量)

リサイクル  
**Recycle**  
(再生)

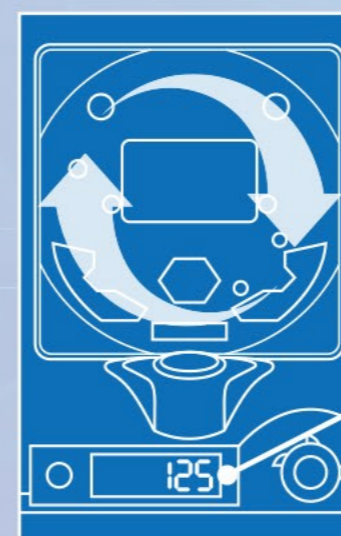


リユース  
**Reuse**  
(再使用)

群馬工場では、2005年の竣工時より積極的な環境保護への取り組みとして、太陽光発電設備及び風力発電設備を導入しています。



## スマート遊技機 遊技機業界の新しい風、平和の取り組み。



スマート遊技機は物理的にパチンコ玉、メダルに触れずに遊技でき、遊技情報を電子的に計測できます。



スマート遊技機とは、スマートパチンコ(スマパチ)、スマートパチスロ(スマスロ)、の総称でスマスロは2022年11月から、スマパチは2023年4月から導入が始まった次世代遊技機です。スマパチはパチンコ玉を遊技機の内部で循環させ、スマスロはメダル自体を使用しないことにより、いずれも物理的にパチンコ玉、メダルに触れずに遊技することができ、遊技情報は電子的に計測されます。また、遊技性の向上(新しいスペックやゲーム性の向上)、のめり込み防止、不正行為の撲滅など、多くのメリットがあります。平和もこの遊技機業界の新しい風に乗れ、市場にスマート遊技機を提供しております。これからも遊技機業界のリーディングカンパニーとして新しいエンターテインメントを提供し続けます。

### 3Rへの積極的な取り組み。

平和グループでは、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の徹底を掲げ、遊技機のライフサイクルにおいて、最大限の省資源化と再資源化を目指し、開発から生産、リユース、リサイクルにいたるすべての段階において環境負荷低減に取り組んでいます。平和グループの工場は、排出物を出さない最新のシステムを導入し、地球環境の保護と限られた資源の有効活用として使用済み遊技機のリユース、リサイクル等を徹底しています。

**Reduce**  
リデュース

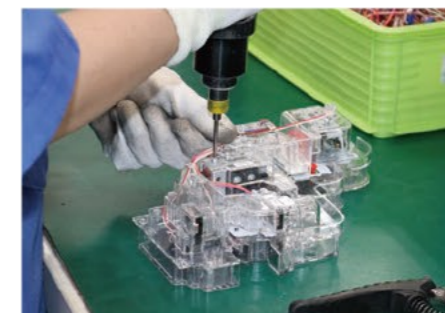
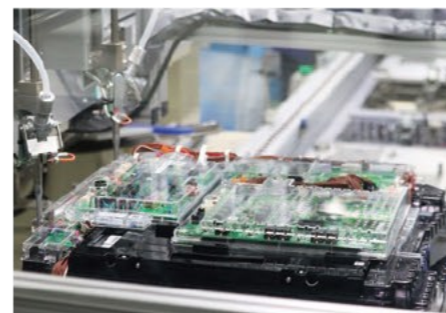
設計段階から再生可能な素材を選択し、廃棄物の発生を抑制しています。

**Reuse**  
リユース

市場で一定期間稼働した使用済み当社遊技機を新台同様の別スペックへ改修し再納品しております。

**Recycle**  
リサイクル

市場で一定期間稼働した使用済み当社遊技機をパーツ・素材として解体分別し、別製品に再利用しております。



# Pachinko and Pachislot Machine Business

## プレイヤーが求める夢をカタチに。

ヒット商品は、一人の力や机上だけでは生まれません。世の中にインパクトを与える製品を送り出すには、熱い情熱を持った「人」と「チーム（組織）」の力が必要です。すべての製品とそのプロセスに、社員一人ひとりの熱い想いが込められています。プレイヤーが求めている、夢をカタチに。より多くの人々に楽しさや感動を与えられる遊技機の開発を通して、エンターテインメント文化の発展に貢献していきます。

## コンテンツにける熱い想い。

私たちのエンターテインメント・コンテンツの追求は、ゲームや映画など、他ジャンルへの挑戦でもあります。例えば、パチンコ機一種類のために細部まで綿密に作り込まれた演出の総量は、2時間の映画一本分を超えています。また、平和オリジナルのキャラクターはプレイヤーの熱い支持をいただき、パチンコ・パチスロでのシリーズ化はもちろん、テレビアニメやモバイルアプリなど、多くのメディアでも展開しています。プレイヤーの更なる満足を目指し、熱い想いが生み出す魅力的なコンテンツ群は、遊技機の枠を超える大きな可能性に満ちています。



「キュインちゃんねる」はこちら  
平和公式YouTubeチャンネル「キュインちゃんねる@HEIWA」の「メーカーとプレイヤーの架け橋になれるような娘」として抜擢されたパチンコ・パチスロが大好きな双子キャラクター。



企画部門では、新機種企画立案から完成までのプロデュースを行っております。



ソフト部門では、プログラミング技術を用いて遊技機のゲーム性を設計、実現しています。



設計部門では役物の設計、ゲージ設計（釘配列）を主として行っております。



デザイン・CG部門では、遊技機の液晶映像の企画・制作業務を行っております。



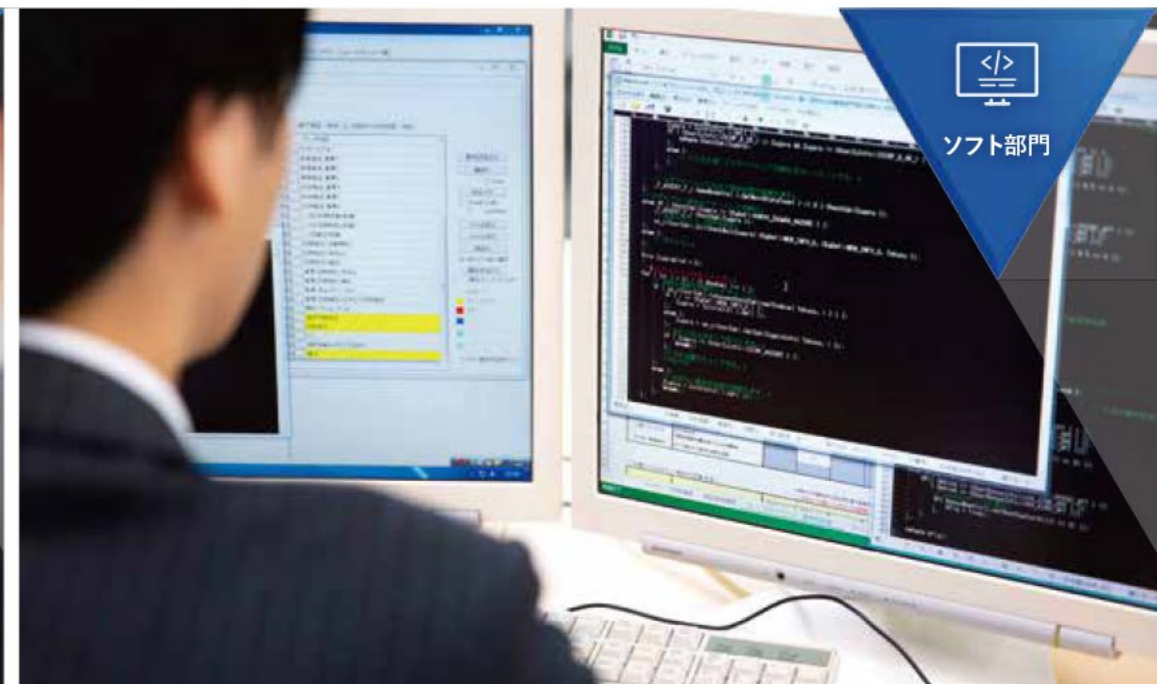
デザイン・サウンド部門では、最新のオーディオ技術・機材を駆使して、遊技機の楽しさをサウンド面から演出しています。



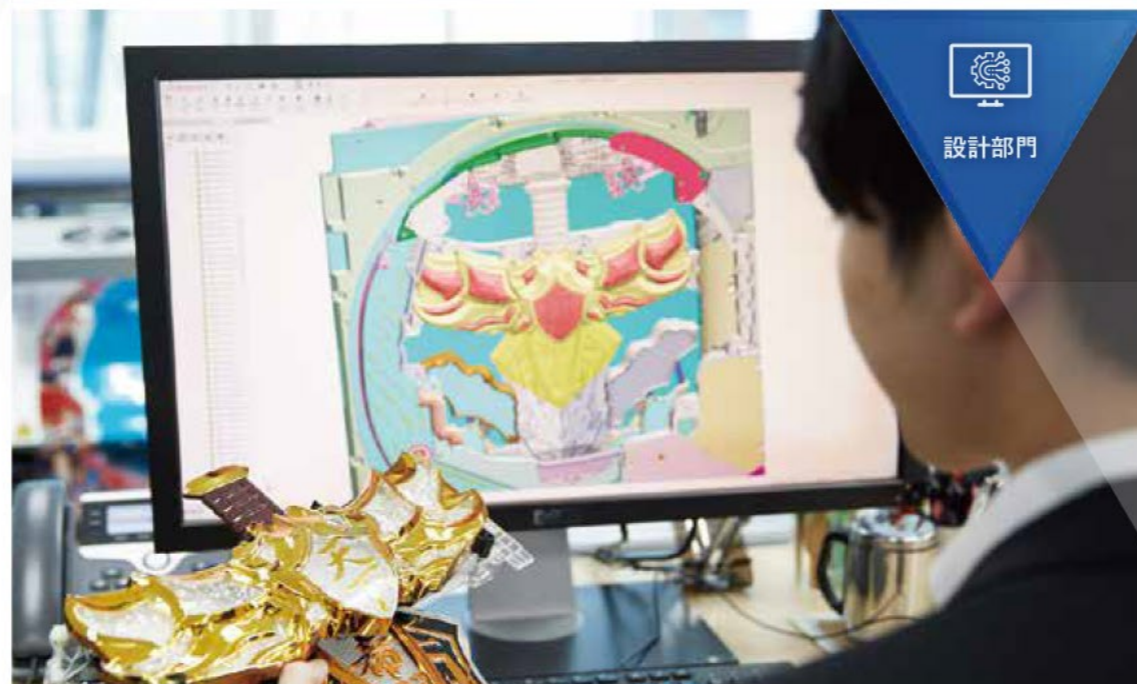
製造部門では、最新鋭の基幹工場である群馬県の赤堀工場を中心に、徹底した品質管理を行い、製品を作り上げています。



企画部門



ソフト部門



設計部門



デザイン  
(CG部門)



デザイン  
(サウンド部門)



製造部門

# Golf Business 02

Love Life. Love Golf.  
ゴルフは、もっと、素晴らしい。

“Love Life. Love Golf.”を信念に掲げるPGMグループでは、「One PGM」というコンセプトのもと、スタッフ全員の心をひとつにしてゴルフを愛するすべてのお客さまをおもてなし。多様化するゴルファーのニーズに応えるべくサービスを提供し、これからも日本のゴルフ業界を牽引していきます。

PGM Golf course



合計148のゴルフ場(18ホール換算:180.0コース)を全国に展開。  
※2023年10月2日現在



## Cool Cart

避暑地がPGMにやってくる。

「Cool Cart」とは、当社グループにて開発したオリジナルの送風機が搭載された、暑い夏にも快適にラウンドができるカートです。全国100コース以上のゴルフ場にて導入しております。

Cool Cartはココがイイ!

### 1. 大風量!

最大風量13m/sを実現。涼しく快適に夏のゴルフをお楽しみいただけます。

### 2. 人感センサーで自動送風!

人感センサー機能が付いており、カートに乗ると自動で送風機が稼働します。また、風量調整も可能です。

### 3. 後部座席にも完備!

前後座席合わせて4台を搭載!すべての座席に送風します。  
※2人乗りカートの場合は、2台になります。



## withGolf

「withGolf」は、PGMサポートプロと一緒にプレーしながら、ワンポイントアドバイスが受けられるサービス。

- 特徴 1** 本格的なレッスンと違い「ゴルフを楽しむ」ことが目的。気負わずカジュアルに楽しみましょう。
- 特徴 2** 一緒にラウンドをしているからこそできる、簡単なワンポイントアドバイスが受けられます。
- 特徴 3** 1人参加のゴルファーが集まる「withGolf」だから、新しいゴルフ仲間と出会えます。

### PGMサポートプロとは?

PGMが練習環境の提供やプロゴルファーとしての活動をサポートしている選手のことをいいます。主に男女プロゴルフツアー本格参戦を目指す選手ならびにプロテスト合格を目指す選手となります。



### お客様の満足のために、私たちができるすべてのことを。

プレーを楽しむゴルファーの心を満たすもの、それは、優れたコースコンディションだけではありません。レストランでの美味しい食事、プロショップでの楽しいショッピング、アフターゴルフにおける快適性など、様々なサービスがあってこそ、お客さまからの満足と信頼は得られるものだと考えます。



# Golf Business 02

## 日本のゴルフを、もっと豊かに、もっと上質に。

日本を代表する威厳と品位を兼ね備えたハイグレードなゴルフ場でこれまでにない豊かなゴルフライフを愉しんでいただきたい。そんな想いのもと、PGMが保有・運営する全国のゴルフ場から厳選したコースで新たにご提案するのがGRAND PGM (グラン PGM)です。プレーする歓びを満喫できるチャンピオンコース。確かな気品と重厚感の中、ゆったりとくつろげるクラブハウス。おいしい食の時間を彩るレストラン。充実した品揃えのプロショップ。そしてメンバーはもちろん、ゲストの方々にいつも至高の時を感じてもらえるホスピタリティ。GRAND PGMが提供する特別なゴルフ体験を通じて、日本のゴルフを、もっと豊かに、もっと上質に。PGMは日本のゴルフシーンをリードしていきます。



PGMゴルフリゾート沖縄(沖縄県)

## GRAND PGM



PGM石岡ゴルフクラブ(茨城県)



ザ・ゴルフクラブ電ヶ崎(茨城県)



セゴビアゴルフクラブインチヨダ(茨城県)



大宝塚ゴルフクラブ(兵庫県)



美木国際ゴルフ倶楽部(大阪府)



PGM武蔵ゴルフクラブ(埼玉県)



サンヒルズカントリークラブ(栃木県)



## ゴルフというスポーツを通じたチャリティによる社会貢献を目的に。 HEIWA・PGM CHARITY GOLF

本格的なゴルフシーズン到来前に、国内プロゴルフトーナメントを含むゴルフ市場の活性化及びゴルフというスポーツを通じたチャリティによる社会貢献を目的として、温暖なPGMゴルフリゾート沖縄を舞台に、男女トッププロのペアマッチ「HEIWA・PGMチャリティゴルフ」を開催しております。本大会では大会賞金やギャラリー入場料の一部、チャリティグッズ販売の収益を沖縄県団体などに寄付しております。



### 訪れるたびに新たな感動に出会う楽園。

2026年  
OPEN

PGMは2026年にグループ初の総合リゾートホテルの開業を予定しています。本ホテルが併設される「PGMゴルフリゾート沖縄」は、2017年に青木 功プロがコースを改造監修して以来、地元沖縄の方から観光客まで、多くのゴルファーに利用されています。本ホテルを開業することにより、ゴルフ場を併設した唯一無二のラグジュアリー総合リゾート施設として、「訪れるたびに新たな感動に出会う楽園」を提供してまいります。



PGMゴルフリゾート沖縄(沖縄県)

# Sustainability

サステナビリティ

平和グループは、総合レジャーを通じて  
「豊かな未来」をつくれます

平和グループは、遊技機・ゴルフなどの  
総合レジャーを通じて、様々な人々の  
価値観を尊重できる社会の構築に貢献し、  
もっと楽しめる未来・豊かな未来を創造します。



## ESG 経営への取り組み

平和グループは、遊技機事業、ゴルフ事業を通じて  
持続可能な社会の実現を目指しSDGsの達成に向け、  
ESG(「環境(Environment)」、「社会(Society)」、  
「ガバナンス(Governance)」)経営に  
取り組んでいます。



### SDGs (エス・ディー・ジーズ) とは。

2015年9月に開催された「国連持続可能な開発サミット」において、全会一致で採択された2030年までの新たな「持続可能な開発目標」。17の目標と169のターゲットから構成されています。







平和グループのSDGsへの取り組み



環境 (Environment)

3R(リデュース・リユース・リサイクル)への取り組み



平和グループでは、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の徹底を掲げ、遊技機のライフサイクルにおいて、最大限の省資源化と再資源化を目指し、開発から生産、リユース、リサイクルにいたるすべての段階において環境問題・循環型社会へ取り組んでいます。平和グループの工場は、市場で一定期間稼働した使用済み遊技機を引き取り、新台同様の別スベックへ改修し再納品するリユースシステムや最終的に回収した使用済み遊技機を解体し再利用パーツ・素材として解体分別を推進し、地球環境の保護と限られた資源の有効活用として使用済み遊技機のリユース、リサイクル等を徹底しています。



エコレールマーク認定の取得



物流・輸送によるCO2排出量を削減するために、製品の輸送方法を見直し、トラック輸送から鉄道輸送へのモーダルシフトを推進しており、公益社団法人鉄道貨物協会が鉄道貨物輸送を一定以上利用している企業に対して認定する「エコレールマーク取組企業」の認定を取得しております。



再生可能エネルギーの積極的な活用



環境保護の観点から、工場やゴルフ場の遊休地において太陽光発電及び風力発電設備を積極的に導入しております。すべての発電設備を合わせた年間の予想発電量は376万kWhとなり、一般的な家庭の年間消費電力量に置き換えると約1,040世帯分に相当します。



プラスチック問題対策について



近年、海洋プラスチックごみによる環境汚染が地球規模で広がっており、生態系に及ぼす影響が懸念されております。平和グループでは、この世界的な海洋汚染問題への取り組みの一つとして、お客様へご提供するものに極力プラスチックを使用しないよう、グループ全体で「プラスチック品目の削減」に取り組んでおります。



水資源の活用



平和グループの保有するゴルフ場では、芝の管理に使用している水については散水タイミングや量を適切に見極め、無駄な水の使用がないよう節水に取り組んでおり、基本的にほぼすべてのコースで、雨水もしくは井戸から水をくみ上げ使用して水資源の有効活用を努めております。



施設のLED化による省エネ推進



平和グループが保有するほぼすべての施設及びゴルフ場において、照明のLED化が進んでおり、消費電力の削減に努めております。



電動カートの導入



平和グループの保有するゴルフ場においてガソリンカートから電動カートへの移行を推進しております。電動カートにすることでガソリンカートから排出される温室効果ガス(CO2)の削減に努めております。



社会 (Society)

社会貢献活動



平和グループでは、様々な社会貢献活動を協賛し、活動に積極的に取り組んでおります。

- グリーンリボンキャンペーン
- シニアボランティア活動
- 地域清掃活動



ジュニアゴルファーの育成・支援



平和グループでは、ゴルフを通じて様々な社会貢献活動を実施しております。

- ジュニアゴルファー活性化プロジェクト
- スナッグゴルフ実技講習会・寄贈式
- 世界ジュニア選手権日本代表選抜大会への協賛



もっと楽しめる未来をつくらう

## Corporate Data

株式会社平和 東京証券取引所 プライム市場(6412)



### 会社概要

商号 株式会社 平和  
(英文社名:Heiwa Corporation)  
本社 〒110-0015  
東京都台東区東上野一丁目16番1号  
設立 昭和35年(1960年)  
資本金 167億55百万円  
事業内容 遊技機の開発・製造・販売

株式会社平和の  
HPはこちら



代表取締役社長	嶺 井 勝 也
代表取締役副社長	諸見里 敏 啓
常務取締役	宮 良 幹 男
取締役	兼 次 民 喜
社外取締役	山 口 孝 太
社外取締役	遠 藤 明 哲
常勤監査役	中 田 勝 昌
社外監査役	大 友 良 浩
社外監査役	杉 野 剛 史

### 株式会社オリンピア



### 会社概要

商号 株式会社 オリンピア  
(英文社名:OLYMPIA CO., LTD.)  
本社 〒110-0015  
東京都台東区東上野一丁目16番1号  
設立 昭和60年(1985年)  
資本金 40億77百万円  
事業内容 遊技機の開発・製造

株式会社オリンピアの  
HPはこちら



代表取締役社長	兼 次 民 喜
代表取締役副社長	宮 良 幹 男
取締役	又 吉 正 弘
取締役	嶺 井 勝 也
取締役	諸見里 敏 啓
監査役	新 井 久 男

### パシフィックゴルフマネージメント株式会社



### 会社概要

商号 パシフィックゴルフマネージメント株式会社  
(英文社名:Pacific Golf Management K.K.)  
本社 〒110-0015  
東京都台東区東上野一丁目14番7号  
アイエムタワー  
設立 昭和61年(1986年)  
資本金 1億円  
事業内容 ゴルフ事業の経営管理  
ゴルフ事業に係る子会社の株式保有  
ゴルフ場の運営及び運営受託

パシフィックゴルフマネージメント  
株式会社のHPはこちら



代表取締役社長	田 中 耕太郎
取締役	古 畑 利 宏
取締役	高 木 幹 悦
取締役	中 水 信 博
取締役	宮 城 安 伸
取締役	吉 田 潤 一
取締役	中 澤 徹
取締役	石 原 慎 也
取締役	嶺 井 勝 也
取締役	諸見里 敏 啓
取締役	兼 次 民 喜
取締役	石 橋 保 彦
取締役	三 好 康 之 夫
監査役	坂 本 雅 夫